

2026年度後期 白鷗大学公開講座 【一般の方(学外の方)用】

大学ホームページにも、掲載しております。 https://hakuoh.jp/about/about_10.html

開催日順掲載

No.	講 座 名	学 習 内 容	教 員	日にち	時 間
①	「株主総会」とは何か？	株式を取得すると行ける「株主総会」。6月はこの「株主総会」のシーズンです。 さて、この「株主総会」とは、いったいどのような「会」なのでしょう か。本講座では、このナゾを明らかにしたいと思います。	白石 智則	10月12日(月)	13:00～14:30
②	虚偽・誇大広告に騙されないために～景品表示法の規制の概要 (ご注意:前期と同じ内容です)	実際のものよりも安い、品質が良い、などの虚偽・誇大広告を規制するための法律である「不当景品類及び不当表示防止法」(景品表示法、景表法)について、その規制内容や法運用の状況について説明します。	田辺 治	10月13日(火)	18:00～19:30
③	伝統的な中国医学の応用、ワクチン開発、そして米国の認知戦	中国による新型コロナウイルス感染症対策等についてお話します。	范 力	10月14日(水)	14:40～16:10
④	犯罪について話しましょう	次の3つのテーマで、賛成・反対の理由を話し合います。 ①犯罪行為のあとに刑法を修正して処罰してよい？ ②意識を喪失して犯した場合も罪に問われるべき？ ③13歳以下の場合は罪にならなくてよい？	清水 晴生	10月14日(水)	13:00～14:30
⑤	大人の“使える”メディアリテラシー《前編》	*その話、フェイク・偏り・決めつけはないか？ 初対面の情報に惑わされない為の“4つの疑問”(ソ・ウ・カ・ナ)の使い方についてお話します。	下村 健一	10月16日(金)	15:45～17:15
⑥	ステルス・マーケティングとダークパターン (ご注意:前期と同じ内容です)	不当表示の最近のトピックであるステルス・マーケティングとダークパターンの二つの問題について、どんな問題があるのか、どのような規制が試みられているのか、消費者は何に気を付けたいのか、などを説明します。	田辺 治	10月20日(火)	10:40～12:10
⑦	大人の“使える”メディアリテラシー《後編》	*自分の発信に、フェイク・偏り・決めつけはないか？ 悪意なき加害者にならない為の“4つの自問”(ハ・ツ・キ・リ)の使い方についてお話します。	下村 健一	10月22日(木)	13:00～14:30
⑧	大人の“使える”メディアリテラシー《番外編》	*オールドメディア(テレビ・新聞等)が、発信前に必ず行う“裏取り”作業。フェイク・偏り・決めつけを除去するプロ技のスリリングな実例を公開します。	下村 健一	10月29日(木)	10:00～11:30
⑨	写真で見るヨーロッパの数学と文化(1)	ヨーロッパでは、生活の中にたくさんの数学が根付いています。本講座では、ヨーロッパの美しい風景を見ながら数学の文化を追ってみます。1回目はドイツです。	後藤 学	11月6日(金)	17:30～19:00
⑩	刑事裁判について話しましょう	次の3つのテーマで、賛成・反対の理由を話し合います。 ①やらないなら黙秘権は不要か？ ②死刑は廃止すべきか？ ③裁判員裁判はやめるべきか？	清水 晴生	11月11日(水)	13:00～14:30
⑪	最低賃金はどうやって決まるのか	物価が上昇する中で賃金は上がらず、生活が厳しいと言われます。最低賃金の金額は、都道府県ごとに違います。毎年の最低賃金はどうやって決まるのかを概説し、最低賃金制度の課題を考えます。	藤井 亮二	11月13日(金)	18:00～19:30
⑫	写真で見るヨーロッパの数学と文化(2)	ヨーロッパでは、生活の中にたくさんの数学が根付いています。本講座では、ヨーロッパの美しい風景を見ながら数学の文化を追ってみます。2回目はイタリアです。	後藤 学	11月13日(金)	17:30～19:00
⑬	「取締役」とはどういう責任を負っているのか？	株式会社で大きな権限を持っている取締役は、どのような場合にどのような責任を負うのでしょうか。本講座では、「フジテレビ事件」などの最近の事件を例に挙げて、取締役の責任について会社法の観点からやさしく説明したいと思います。	白石 智則	11月23日(月)	13:00～14:30
⑭	日本における二院制について考える～昨今の政治情勢を踏まえて	2026年2月の総選挙で大勝した自民党高市政権。衆議院では3分の2以上の勢力を保持しながらも参議院では過半数割れている状況にある。二院制の意義はどこにあるのか、改めて考える機会としたいと思います。	市島 宗典	11月26日(木)	14:40～16:10
⑮	都市公園の管理は官が行うべきか？民が行うべきか。	都市公園に指定管理者制度を導入した効果を検証した上で、Park—PFI制度の活用可能性について展望します。	岩崎 忠	12月9日(水)	10:40～12:10
⑯	少年法について話しましょう	次の3つのテーマで、賛成・反対の理由を話し合います。 ①少年法は必要？ ②18歳未満でも死刑を科すべき？ ③18歳以上は大人扱いの報道をすべき？	清水 晴生	12月9日(水)	13:00～14:30
⑰	令和の大合併はあるか？～人口減少時代の自治体は合併？自治体間連携？	明治、昭和、平成と続いた大合併は、令和に起こるのか？人口減少という時代背景を踏まえ、今後の基礎自治体のあり方を問います。	岩崎 忠	1月13日(水)	10:40～12:10
⑱	刑事政策について話しましょう	次の3つのテーマで、賛成・反対の理由を話し合います。 ①安楽死は合法化すべき？ ②大麻は合法化してよい？ ③受刑者を「さん」づけして呼ぶべき？	清水 晴生	1月20日(水)	13:00～14:30
⑲	主権者教育とは何か	18歳選挙権施行から10年を迎えた。そのスタートの同時に主権者教育の必要性が叫ばれ、学校現場等での取り組みも進んでいる。わが国において主権者教育がなぜ必要なのか、そしてその課題について考えてみたいと思います。	市島 宗典	1月25日(月)	18:00～19:30

お申し込みについて

【お申し込み方法】(1講座単位で申し込みいただけます。また、お1人様何講座でも申し込みいただけます。)

Web申込フォーム、メール、ファックスのいずれかでお申込みください。

★申し込み締切りは、各講座の開講日の1週間前までとなります。

【Web申込フォームQRコード】

スマホのカメラをQRコードにかざし、画面に出るリンクをタップしてください。



●Web申込フォーム

パソコン、スマートフォンで、次のページにアクセスして、必要項目を入力後、送信してください。

【URL】 <https://forms.cloud.microsoft/r/9g0abV850M>

●メール、ファックスの場合

以下の内容を明記してください。

タイトル「2026公開講座の申込み」

①受講を希望する講座No.と講座名

②氏名(フリガナ) ③〒・住所 ④連絡先の電話番号・FAX番号

⑤「一般の方」か「卒業生」かをご記入ください。

(本学卒業生の場合で、卒業学部・学科、在学中と姓が変わった方は旧姓もご記入ください。)

メール: chiikikouza@ad.hakuoh.ac.jp

ファックス: 0285-20-8161 公開講座係

〒323-8586 小山市駅東通り2-2-2 白鷗大学地域連携サポートセンター 公開講座係

【受講料】1講座(90分): 500円(税込)

希望者が5名に満たない場合は、閉講となりますので、あらかじめご了承ください。

メール等の申し込みが到着し、それぞれの講座が、5名以上となった状況で開講決定となります。

決定後、メール(または電話)にて、ご連絡いたします。

【受講料の納付について】

受講料は、開講日までに(開講日当日でも可)に、本キャンパス3階にある証紙券売機で、500円の証紙をご購入し、3階の地域連携サポートセンターで、受付を行ってください。

*卒業生の方は、鷗友会(同窓会)から補助があり、前期・後期合わせて4講座まで無料で受講できます。

【教室について】

教室は受講日当日に、キャンパス1階ロビーの掲示にてお知らせいたします。

※全講座、本キャンパスでの開講です。

【お問合せ先】

白鷗大学 本キャンパス 地域連携サポートセンター

電話: 0285-20-8114(平日のみ9:00~16:30)

【地図】



ご注意: 校内に駐車場はございません。

近隣のコインパーキングをご利用ください。